

女性自立支援に「あい基金」 都内財団が設立、寄付募る



女性のための「あい基金」の創設発表会＝3日、東京都内で

寄付文化を広げようと活動している公益財団法人

「パブリックリソース財団」(東京都中央区、岸本幸子代表理事)は三日、女性の自立を支援する企業やNPOを支援する「あい基金」の創設発表会を都内で開いた。二〇一六年三月までに四百五十万円の寄付を募り、同年度に三百万円助成するのが目標。

岸本氏はあいさつで「日本の個人寄付は東日本大震災を経て、現在も拡大している。(基金を)女性が女性を支える受け皿、器にし

たい」と述べた。

基金の名称は、女性が先頭に立つて(Initiative)女性の自立を実現し(Independent)誰もがその価値を認め合う(Inclusive)——を意味する英語の頭文字「I」から取った。助成対象は公募し、外部の有識者による審査委員会が選ぶ。一六年度は東日本大震災の被災地で活動する団体を支援する方針。

同財団は一三年に設立。NPO法人などの市民活動を支える資金源として、寄

付を推進している。同基金を含む七つの基金を運営するほか、インターネット上の寄付サイト「Give One(ギブワン)」を運営している。